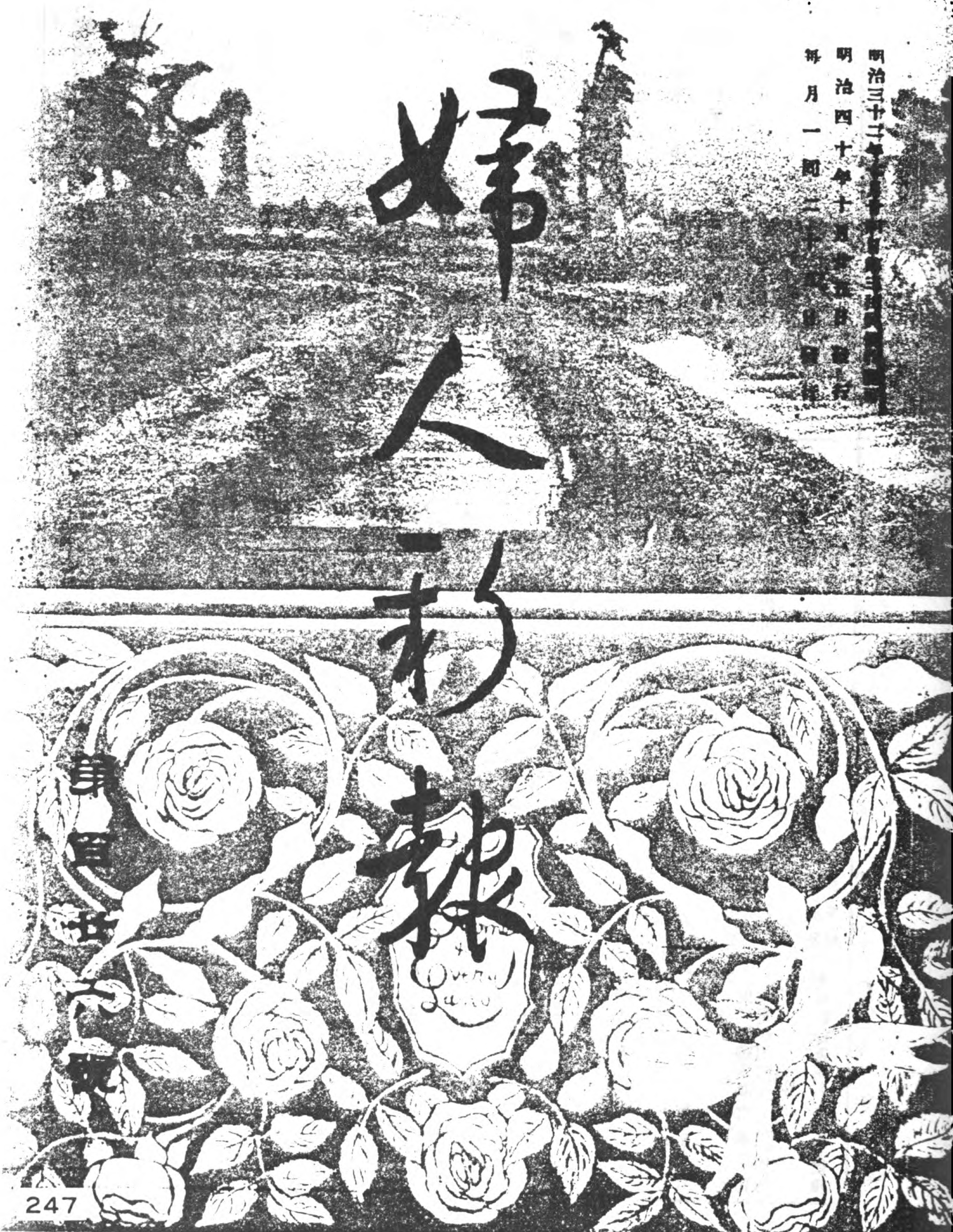
WOMAN'S HERALD

婦人新報

明治三十二年[illegible]第三種郵便物認可
明治四十年十月廿五日發行
毎月一回二十五日發行



第百廿六號

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百廿六號

目次

社説

健全なる團體の基礎

この勇氣なかる可からず

我山に向て目をあぐ

福山だより

人事

スペンサー孃の送別

マコーレー夫人の歡迎

覺醒　青山女

軍人課報告　清水富貴子

青年欄

飯田町Y通信

自覺　倭女子

婦人矯風會記事

本部、神戸、前橋、堺、廣島、横濱、函館、オークランド

社告

廣告

社告

◉婦人新報定價（郵稅共）

一部（前金）　金六錢

六部（前金）　金三十五錢

十二部（前金）　金七十錢

（郵券代用一割増）

◉廣告料

一行（五號活字）　金十錢

明治四十年十月廿四日印刷

明治四十年十月廿五日發行

發行兼印刷人　本多テイ

編輯人　小崎チヨ

發行所　婦人新報社

東京府豐多摩郡澁谷村元青山南町七丁目一番地

編輯及事務所　本郷駒込蓬萊町三十一番地

No. 126. OCTOBER 1907.

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS

The foundation for a strong Union.

Be brave!

"Leift up mine eyes unto the hills"

News from Fuchow.

PERSONAL EVENTS.

Farewell for Miss Spencer.

Welcome for Mrs. Mc Couly.

Waking up from a long sleep.

Reports from the S. D.

Y. Branch.

W. C. T. U. NEWS.

Headquartors, Kōbe, Maibashi, Sakai, Hiroshima, Yokohama, Hakodate, Oackland.

ADVERTISEMENT.

FUJIN SHIMPO OFFICE.

No. 6, Horaicho, Hongo, Tokyo.

70sen per Annum. Single Copy 6sen.

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百二十六號

(明治四十年十月廿五日)

健全なる團體の基礎

昔毛利元就が其子弟を一室に集めて一枝の箭は折れ易く數本の箭は容易に折れざる事を示して敵を防ぐ唯一の武器は金城鐵壁に非ずして實に一家相和して行くにある事を教へました諸姉も御承知の通り其頃は戰國時代と申して英雄が諸所に割據いたし少しの隙もあらば之に乘じて攻め來り覇權を握らふといたして居りました油斷のならない時で御座いましたから若し内訌の流言でもあれば直ぐ敵の攻擊を受けねばならず從つて自分の領地をも危くなるので毛利氏が此教訓を子孫に與へたのは尤もの事で御座います主が若し家族の一人が叛かば其家は遂に倒ると仰せられましたが是れは私共が餘程考へねばならぬ事であると思ひます

音樂の美の極繪畫の粹之れ皆音調色彩の完全に一致いたす結果であると思ひます

凡そ團躰と申しますは一個人では容易になす事の出來ない一ツの事業を完全にまた敏捷に成効をなす爲めに同じ主義の數多の個人が集合して名々の特色を發揮しつゝ其業に從事する云はゞ數枝一躰の活動力であると自らは思つて居ります此枝たる者の中に少しにても曲れる處がありますならば其力が鈍くなつて行く事は當然の事で御座いませう然れば此一大活動力である團躰の基礎を堅固にいたすには何が必要であるかと申せば滔々として人を醉はす樣な辯說でもなく奇想天涯より落つるてふ奇警の說でもなくまた旺溢たる才氣でもない實に一人の主を戴いて眞面目に働く人々の一致の精神であると思ひます而して名々顏の異なるが如く異なる意見を持て居る者がお互に一致いたす事は實に六ケ敷事で各自が謙讓、犧牲、同情の念がなければ到底圓滿なる一致を求められません

自分は無名の英雄でありたい自分は人知れず谷間に匂ふ百合しかも深山の賑を助けるものとなりたい隠れたる我が力のあらん限りの働をいたしたい、自分は朽ち

果てない礎の一つになりたいとの如き床かしい氣高い考が私共の心に起りますならば私共は譬ひ自分に面白くない事があつてもまた出來難いと思つても之は我がなすべき義務吾が受くべき試錬であると覺つて眞面目に團體の一員として其務を果す事が出來ると思ひます眞の實行者は斯様なるやさしい心がけを持つ人であると存じます

自由を得んが爲めには幾多の生命も犧牲にしなければなりません艶麗なる一枝の美花を開かすには數知れぬ蕾を取り捨てねばなりません完全なる璧を造るには貴き部分をも磨滅せなければなりません而して健全なる團體を造るには矢張多くの犧牲になる人を出さなければなりません昔もシャロートコーデーが死にませんてしたならば佛國革明の花は開きませんてしたてせうチルソン將軍が討死いたしませんてしたならば英國の海軍は今日の優勢を占める事が出來ませんてしたてせう矯風會の働が實を奏しまして社會の人が矯風會を怖れるに至る迄には隨分犧牲となる人が多いと思ひます今でも人知れず獻身的の働をなして居られる方が多いので御座います私共は犬死をいたしてはなりません私共の討死は尤も有益なる者てなければなりません私共は天より稟けました智慧を用ゐて賢い方法を以て自を其主義の爲めに捧げる覺悟と勇氣を養はなければなりますまい

傷つけるサマリヤ人を助け之を慰むる者は誰れてせうか自分が其位置になつて他をいたはる人は誰れてせうか情しき愛の言葉を以て疲れはてたる人を慰むる者は誰れてせう人生の行路に倦みて眠り怠る人を勵まし力を添へ之に無限の平和を與ふべき人は誰てせうか婦人の尤も貴き使命は何てせうか噫私共は靜かに考へ暫し默して想に耽ります時に私共の心の中には不安の念が起りはいたしますまいか自分は一言の情しき言葉に感泣しまた同情なき苦き言葉に胸は割くる思をいたした事が御座います私共が社會を矯風する位置にあつて社會に行はるゝ惡風に對し一片の同情もなく直ちに其惡を匡正しやうと思いますならばそれは空しき骨折りて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

あると思ひます同情ある一言はよく人を奮起させますが木枯風の如な冷たい言葉は却て人を自暴自棄にいたさせます私共は他人の非を數ふる事なく特に婦人に多き陰言は斷然之をやめて同情を以て互に助け助けらるればそれこそ美はしき果實を見る事が出來ると思ひます

さて此三つを含める一致協力の産む結果は最早や此て申述ます必要は御座いませんが時々矯風會の働は思つたよりも擧らないと云ふ事を聞きますが自分も其感がない理けでは御座いません不振の原因の一は殘念ながら會自身に無頓着な會員があるからであると思ひます三千ならずとも少くも一千五百人の會員が歩調を一つにしまして名々が責任を帶びて支部は本部を助け本部は支部を助け一致協力して無形の戰國時代たる今日の社會に小は家の事大は國の爲めに盡しますならば必ず私共の目指す敵に打ち勝つ事が出來ると思ひます私共は一致と云ふ言葉を議論の題といたしたくはありません私共のいたす事は唯だ實行で御座います神と共に一致したる私共會員が更に主義のもとに一致いたしますならば其基礎は如何なる怒濤も如何なる風雨も覆す事が出來ません實に健全なる團体の基礎は一致團結の精神であります

（聖書互に相愛すべし）

之の勇氣なかる可からず

日本禁酒會々頭安藤太郎氏が布哇に於て禁酒されし物語は何度伺ひましても其度に必ず一種のインプレッションを受けるので御座います記者は先月の國の光紙上に掲載されてありました布哇物語を讀んで實に同夫人の勇氣を深く感じました、會頭の禁酒は勿論壯かんな勇氣ある御決心で御座いましたが會頭をして今日あるを得せしめましたのは慥かに夫人の大なる勇氣であると思ひます家庭の女王たる主婦として若し安藤婦人の樣な誠實と勇氣が御座いますならば其主人を禁酒せしむる事は餘り難問題でもないと思ひます殊に近頃は餘程飲酒の害を覺つて節酒する人も尠なくはないやうで

御座いますから此好時機を逃さない樣に奮發していたゞきたう御座います酒樽を打ち破るの勇氣は慥かに頑固なる飮酒家を改心させる事が出來ると信じます

我山に向へて眼を上ぐ

曾て一人の青年が街を歩いて居りましたが不圖下を見ましたら一個の金貨が捨ちて居りましたそれからと云ふものは道を歩く時にはいつも目を地面から離しませんでした長き生涯の中に此人は金貨や銀貨を多少見付けましたが一生涯中とう〳〵彼處此處に咲き亂れて居る美しい花や鈴の樣になつてる果物や崇嚴なる山や靜かな谷間や畵の樣な景色やまた廣大なる蒼空もなかめませんでしたから此人には世界は塵深い汚い醜い處であるとしか分りませんでしたと云ふ語が御座いますが私共は絶えず其目を高につので貫かなければなりません私共は此世に流浪ふ旅人の樣なもので行手に聳ゆる山を目指して進みませんならば其道を失へます私共は唯だ地に付ける者のみを見て天の榮光の絶えず我が上に輝いて居るのを忘れてはなりません我山に向ひて目を上ぐる時は私は云はれざる喜を感ずるばかりてなく不思議な程慰安を受けるのであります

釜山だより

有志の熱心なる運動も市民正義の聲も其耳や目に入らないのでせう旭川も平町も皆醜類の手に弄ばるゝ樣になりました矢先讀賣子の釜山通信に左の如き記事を見付けました

▲遊廓移轉問題　八月廿八日突然理事廳公文を以て遊廓移轉を指定せらる、元來當港の遊廓は一昨々年頃迄は市内と遊廓との間八丁有餘を隔てゝ別世界の觀を呈せるが當地の發達するに從ひ市内と遊廓との間家屋接觸して風敎上宜敷からざるが爲め也と因に新移轉地は釜山西山麓にして眺望の點に至りては申分なきも目下の不景氣にては到底遂行し得べくもあらずと樓主は會合して協議を凝らしつゝあり

▲人の消息　警視齋藤金祐氏は下關に就職中煙突警

視と謡はれて中々火の要心深き人なりし由なるが釜山着任後は「掃ダメ」警視の尊號を奉られたり、これ衛生々々と八釜敷く戸毎の掃ダメ検査を行ふ故にして賣春婦驅逐に熱心なり因に氏は身長五尺四寸五分躰量廿六貫目「据風呂」の別號あり

實に愉快なる事で御座いますが樓主等が不景氣の故を以て何にか協議すると云ふ事で御座いますが釜山市の市民は決して醜類に勝を得せしむる事がない事を期しますそれと同時に私共は全然醜業者の跡を斷つべき主段を當局か講ぜられむ事を遙かに祈ります私共は絶えず正義の聲を叫ぶ者とならなければなりません

神の國と其正義とを求めよ

人事

○シスペンサーの歸國　在日本外國婦人矯風會の會長として多年私共と協力して斯業の爲に一方ならず盡力して被下ました同氏は來る十一月上旬を期し歸國の途に上ぼられる事で御座いますがいつも慈母の樣に情さしきお言葉を以て導いて被下ました良師友と暫しなりともお分れいたさねばならない事は實に殘り惜しい事で御座ひますが主ゆるし給はゞまた四十二年の春には再びおめにかゝる事が出來る事で御座いますから私共は海にも陸にも其友となり保護者となり給ふ大能の御手に愛婦を托して喜んで御送りを申すつもりて御座ひます

○ミセス、マコーレ歸朝　神樣は悲しみのある時には之と同時にまた大なる惠をお與へになる事を今更の樣に覺りましたミススペンサーを送るの悲しみはマコーレー夫人を歡迎いたすの喜に變じました慈愛館主なる同氏は一年間歸米なされ今月十日に再び歸朝されて彼の困難なる慈愛館の監督に歸り早々御多忙のやうで御座います一年間愛する慈母と離れて居りました生徒等の喜嬉滿足は如何でせうか之れより益々同館の事業は神の惠と同姉の御熱心と相まつて著々と擧る事であると確信いたします

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

覺醒

靑山　女

醒めて祈れ……、と云ふ事に付きまして私は非常に感じました、私も矯風會の一員で御座いますが、たゞ名のみだけで何のはたらきも致さずに居る者で御座います、尤も信者ではありますが信仰のうすきため心弱く少しの出來事から良人に離縁さるゝ事となりまして、其後はたゞ毎日〳〵鬱々として何んだか世の中がいやな樣な心もちになりましてはかない事のみ考へて居ました、ある時には神樣をすて又ある時には非常な勇氣を出しまして自分！殘る生涯を神樣の淸きうつはとして此世の中ではたらきたいと云ふ考へを持ち傳道學校へ入學ましようかと思つた事も御座いましたけれどももと〳〵心弱い者で御座いますからそれを實行する事も出來ず又家をとびだしてしまつたとも御座いましたがそれも又決心がつかずに歸つてまいりましたそれからは身躰のかげんもわるくぶら〳〵致しておりましていつも〳〵此世の中が殘酷であると云ふ事を考へ一日も早く世をさりたい死にたい死ねばたましいのくるしみであるから今の苦よりもはるかましであらうなどゝはかない考へをいたしまするともう神も主もいつた者ではない聖書も店にほり上けて仕舞お祈も致しませんで毎日自分で自分の心をくるしめて居つたので御座います世間ではこの靜かな秋の日にはお子供だちをおつれになつて郊外散步や秋草を見に向島の百花園などへお出掛に成ますが私はあまり家にばかりとぢこもつて考へ事になやむよりも外へ出れば少しは氣もまぎれるであらうと思ひ靑山邊までぶら〳〵と出掛る事も御座いましたが人樣のたのしくしてお出になるのを見まするとと私はうらやましくなりましてこんな事なら家におつた方がよほどましてあると思ひ早々かへつてまいるので御座いました歸りました所が私一人で話し合手も何も御座いません私は親もなく兄弟もなく子もなく親類もなく一人法師で御座いますからがつかり致しまして心をくるしめたものですからとう〳〵床に就

ぐやうになりました然し慰めて彼下方は一人もなくつく／＼悲しくなりましたので御座います良人は實にやさしい人でして私の病氣の時は親切になぐさめてくれたのです其れになぜあの樣な殘酷な氣になられたのであらう七年の永の年月たゞの一度もあらい言葉もださず物云いも一ッとした事もなかつたのにと自分の忍耐の出來なかつた事をうらまづに良人をうらむ樣になりました幸に信者の方々が私に御同情を下されましていつも／＼おなぐさめ下さるので御座いますけれども私は少しもそれを有がたいと思はないで耳にはいらないので御座いましたところが十月二日丁度日曜日の朝で御座います夜は少しもねむる事が出來ないのですから五時頃に起まして又々これからくるしむのであらうかと思ひ床にうつむいて居りますとふと何事か心に感ずるのです靜に考へますと信ぜよ／＼と云ふ神樣の御こゑが耳にひゞきます私は永く神をはなれて居り升のではじめはゆめの樣に思つておりましたが次第／＼にはつきり神樣であると云ふ事がわかつてまいりましたなぜ信じないか信じさへすれば望事はきいてやるとおつしやるのです私は其時何とも云はれない心持がいたしました何だかそこらにある者があつてそれにしつかりすがりつきたい樣な氣になりましてこれが神樣の御惠であるかと云ふ事が深く／＼心に分かりましたのでたゞ／＼自らはすまぬ事をしたなぜ神樣をすてゝ我がまゝを通したのであらうかこれほど私は神樣にてきたいをして罪の上にも罪の上ぬりをして神も主もあつたものかなどそしつたりうらんだり致しましたにもかゝはらず神樣は私を憐れんで此大いなる御惠を下し給ふたのかと思へば實にかなしくなつてなんと云つておわびをすればいゝかどうしたらいゝかとたゞ／＼伏してゐて神樣と主クリスト樣におゆるしをねがひました同時に私の罪と云ふ事が明かに心に知る事が出來まして今までうらみました良人に對して實にすまぬ事であるお慰め彼下ました方に對してもすまぬ事であると氣がつきまして早速聖書を店よりおろしてよんでは感謝し／＼一日感謝をしておりましたもう私はすべての事を

神様にさゝげまして神様の御意であれば私の望もきいて下さる御意でなくば失望をしない様にのこる生涯を神様の爲に清きうつはとして世の中に立ちて三十倍六十倍百倍の實を結ぶ清き生涯を送らせていたゞく様にすべてを神の御意におまかせ致しました其後はよるもやすく\とねむれる様になり實に日々をよろこんて送る様になり何につけかにつけ神様の御惠のゆたかなる事を感謝して居ります私はあまり感謝にたへないので皆様に此お話を申上ましてどうか皆様が一日も早く神様のお救をおいたゞきに成ますする様に切にねがいたいと存じましてつたなき筆をとりておすゝめを申上るのて御座います

九月の婦人新報中に日本婦人と貞操と云ふ記事が見えましたが日本國は世界有數の離婚國であるのみならず姦淫國であると云ふ評判が世界中に廣がつてをると云ふ事てす實になさけないては御座いませんか制度の不完全の結果道徳をまもる者がない女と云ふ者は一度嫁入すれば其良人の家は全く自らの死場所て有升から家庭内にいかなる事がありますとも自分は忍耐をし柔順にして良人や舅姑につかへねばなりませぬそうして家庭を圓滿におさめて行くのが婦人たるものゝやくめて御座います貞操は此事てあらうと思ひます女が貞操をまもるとともに男子の方にも貞操と云ふ事をまもつてもらいたいと思ひます男子は家に立派な奥様が有ながら外に妾を置くなどとは實に無道徳な仕打て御座います人間と云ふ者は弱い者て御座います殊に女は又一層弱い者てあつてすべて良人を第一にたよりとしてをりますからつい不愉快になり從つて家庭がおさまらなくなります又それが爲に外の女も一生涯男子の犧牲となつてかげの身ておはらねばなりませぬ様な次第て離縁すれば女はもう一生立派に淑女として交際社會に立事は出來ませんきづものになつてしまつております私しふぜいが此様な事を申上ますると何だか變にお思ひなさるかは存じませんが私の心にはいつもこの考が御座いますどうか矯風會の者が心を合せこれを一ッの事業として此日本國の不完全なる制度を改め男子も女子も

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

貞操と云ふ事を重んじて社會が淸く又家庭が圓滿に淸くなる様にいたしたき者て御座いますそれには第一に神様を知つて殘る生涯を淸く致し高潔なる理想をたもち此世の爲めに充分に活動致さなければなりません

記者云、九月の社説に感じて此文を送られし女史の御境遇轉だ御同情に堪えません然れど神は耐へがたきの難を與へ給はぬ事を覺え給へ殘る生涯を淸く送り給はん御決心に記者は感謝して居ります神と共に生き神と共に働き給へ

軍人課報告（三十九年度）

清水富美子

三十七年度に各支部課長諸姉の熱誠なる御助力に依り本課は「ミス、スマート」より名譽の賞金を得候處尙又昨年度大會に於ても此名譽ある賞金を重ねて當課の得る處と相成候此れ實に各支部課諸姉の非常なる御働きに依る事は深く感謝する處に御座候無智短才なる小妹今後益〻諸姉の御助力を仰ぎ申候

△筑前若松婦人矯風會軍人課課長　中屋えい子

軍人及其家族へ聖書及福音書數冊を送りて慰問せり

鹿兒島縣婦人矯風會軍人課課長　種田　成子

軍艦訪問　一回
病院訪問　一回
花束贈與　一回
聖　書　十三冊

其他家族に金品を與ふ
特別事業は軍人家族授產所を設けあり
又廢兵及遺族の爲慰問會を開催せり

壹ヶ年間　收入金壹千五百四圓七十七錢五厘
　　　　　支出金壹千六百二十四圓九十二錢四厘

大阪軍人課課長　名出いく子

當地に於ては專ら廢兵慰問に務め殊に熱心なる一婦人に依賴して戶毎に訪問し聖書及び菓子等を見舞として送り主に傳道に從事せり
他方面に於ては師團長に出願して將校兵士方の集會に於て傳道的の働きをなさんとを申入れたり然るに開戰

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

中の多大なる働き即兵士の行送歡迎其他の働きは大いに喜ばれしも戰後は不必要とて贊成せられざりき尚又將校夫人會の方々にも交際を求めしも未だ回答なし然し今後適當なる働きの與へらるゝを期す壹ヶ年間の支出金貳百八十二圓三十錢也

△旭川軍人課課長　村岸タキ子

病院訪問　四回
談話せし戰傷兵士の數　約三百人
花束　五十束
慰問袋　三百個
リーフレツト　六百枚
聖書　百冊
軍人家族訪問　二十回

○特別運動は病院の音樂堂に於て盛大なる音樂及演說會を催せり

一ヶ年支出金二十圓也

△甲府軍人課　渡邊しげ子

昨年來は特別の働きをなさゞりしが今年九月年會の開く時に於て新課長を撰み然る後大に發展を計るを期す

△京都軍人課課長　和田きぬ子

開戰中陸軍被服作業中より軍人家族基督敎を聞き居たりしが其後五六名は時々敎會へ出席、遂に一名受洗せり

一ヶ年　支入金二十圓五十六錢五厘
支出金十七圓四十五錢也

△宮城軍人課課長　三浦ちよ子

軍人家族訪問　五回

一名の愛國婦人會々員を誘導入會せしめたり

其他は他課の事業を助けたり

△芝軍人課課長　岩瀨香子

廢兵院に會友と同道して傷病兵を訪問花束卄、鉢植一個を送る

軍人家族訪問　五回

△上州上栗須村軍人課課長　小泉たね子

家族訪問　五回
衣類雜品贈與　數個

愛國婦人會員と數度聯合運動をなせり支出金十圓也

（左記の相州の分何卒皆樣へよろしく願上候《清水》）

相州軍人課逗子櫻山課長　德富久子

（此處に和歌一葉押入有之候）

爰に各支部課働きの狀況を大略記被下

軍人課の設ある支部　十九ヶ所
内報告のありし支部　十ヶ所
病院訪問
傷病者に花束贈與
軍人家族訪問及金品贈與
軍人にリーフレット贈與
廢兵慰問　（大坂支部の特別運動あり）
特別授産所　一ヶ所

右の内數の明らかに記入しなきものは又分明に報告する能はず

一ヶ年間　總收入金千五百二十五圓三十四錢也
　同支出金千九百九十四圓六十七錢四厘

本部課長直接働

本年度は自分義病氣勝なりしを以て十分なる働きを爲すと能はず從て各支部課よりも又十分報告を得ざりしは最も遺憾とする所なり幸に諸姉御諒察あらんとを

一ヶ年間出狀數　五十八通
一委員會へ出席　一回
一新報へ投書　一回
一勸誘　一回
一リーフレット配付　一千枚
一尙神田支部課長大關和子氏の目醒き御働きに對し特別に感謝狀を發せり

青年部欄

飯田町　Y

秋氣淸涼學窓はいよ〳〵瞑想に適し申候昨今、御愛姉樣方には愈々御精勵遊ばされ候や御伺ひ申上候、七月の大會によつて少なからず刺撃せられ候ひし私共のY會は今や新たなる希望に滿ちて、四十年度の働らきにと着手いたし申候、さわれいづれ多忙の學生の、まして力弱き身の、皆樣方へ公然と御報告申上げ候には、餘

りはづかしう候へども、たゞ有りのまゝを聞え上げ候て、さま〲御注意と御助けとを賜はり度くと存じ、貴き紙面僅か拜借いたし申候、

扨て一昨年より我が會にて開始致し候ひし音羽町の貧兒の教育は、夏季休暇中は已むを得ず中止いたし居り候ひしが、九月より早速引き續き前の通り毎日曜にブラックマホームにて教授いたし居り候、しかし場所の不都合は凡てを妨げ候て、子供も充分に集り候はず誠に困難を感じ居り候、よつて今年度には何等かの方法を考案いたし是非此の近邊に小さくとも一軒の家を、此の事業のために買ひ、(若しくは貸り)候て、今少し甲斐ある事業と致し度と申し、その資金については只今會員一同苦心致し居り候、兒童の有樣は漸々慣れ候まゝに興味を起し、毎週必ず集り申候十數名の子等は只々日曜を待ち樂しみ居り候樣子にて、未だ授產のわざを教へ候所までには充分に至り得ず候へども、幾分か教育感化と申候方の効蹟は我等が目にもうつり候樣にて、前途はいとゞ多望と存じ申候、しかし只々資金の乏しきには殆ど困じ果て一同只之に苦心致し居り申候。

次に花の課の働らきに候が、之はやはり例の新聞を毎週韓國の兵士に送り居り候外、近日又、博文館より寄送せられ候ひし雜誌類二百冊ばかりをも送附いたす事に相成り只今その手つゞき中に御座候、兵士たちは一方ならず喜び居り候よしに御座候へば、何卒皆々樣よりも奮つて何なりと御寄贈頂き度く候、宛名は、「韓國駐箚軍司令部附副官御中」にて參り候へば何卒、各支部婦風會よりも盛に御送與下され候事を切望いたし候。又花の課役員は毎日曜に小石川の幼育院を訪ふ事に定め居り候、之も一方ならぬ慰めを與へ居る樣に御座候、其の他當月十七日(神嘗祭)には淺草メッジスト教會にて、勞働者のために娛樂的集會を開かれ候趣き承り候まゝ、その方へもこの課より寄附金を募りて寄送いたし、且、二三の役員は當日御手傳ひに參り申候事に致し居り候。

終りに今一つ申上げ皆樣の御助けを頂きたき事項の御

座候、そは七月にも御報告申候ひし通り、私共の會にては昨年來毎學期、公開演說會を開催いたし、その入場料をば音羽の貧兒敎育の資金の幾分にあつる事にいたし居り候が、此の秋はその例會を來る十一月第四日曜（即二十四日）午後一時より開き申候事と定まり場所は飯田町ユニヴァサリスト敎會内にて辯士は多分、浮田和民先生と、松村介石先生に相成るべくかと存じ候、就ては當日市内の會員の御方々には（本部もＹも）何卒御一臂を御添へ頂き度く、御用御くり合せ、當二十四日には飯田町敎會へなるべく御出向たまはり度候、且又各會の會員の御方々より御話なり音樂なり御出し下され、御助けたまはり候はゞ此の上なき幸と存じ候、いづれ其の節は重ねて御案内も申上ぐべく候へども何卒今より御含みおき下され度く、之は特に市内のＹと本部の會員諸姉に御願ひ申上置き候。

まだいろ／＼細かき事申上げたく候へども餘り長々しう相成り候まゝ、あとは次回にゆづり申候、末ながら會員諸姉の御健康と御精勵とを一向祈り上げ申候、先は近況の御報告をのみ、草々。

今度改選いたし候ひし會頭は守屋東子副會頭は江守靜江に相成候ひしかば御用の節は右へ御申越し下され度候。

○自覺　　倭文子

●「汝は日々何がために何を學びつゝありや」

△曰く倫理、哲學、宗敎、文學、その他實際的生活術、日々學校に通ひ每週敎會に行く、目ざす目的は世に有用の人とならんが爲め、只之がためのみ。

●「さらば問はん、有用の人とは何の意ぞ、如何なる用をなす人ぞ。」

△問はずもがな。世の道德を高め、國の利福を增し永遠朽ちざる跡を此の世上に殘し、萬人に眞の生命を與ふる人。

●「否とよ、我が問ひをよく聞け。汝何の要ありてか、その道德を高めんとし、利福を增さんとするぞ。不朽の跡を殘せとは、誰か汝に命じたる。

△誰が命にもあらじ。我は只人類のために、我れと我

が心から。只世を益せんがために、不朽の事業をば。

●「よし、汝の眞意そこにありといふか、さらば再問はん、汝、今、朝も夕も競爭のために走りあへぎ、身心疲れ勞して分時も安まらざるは何がためぞ。友の成功と自己の失敗と一時に重なりし時、汝が胸の擾亂は如何なりし。眞に汝は友のために謳歌を奏でしや、汝が口は眞に友の成功を讃美したりしや、答へよ臆せず」

△否、然り、然り、否

●「咄、確然答へよ。疾く〳〵」

△さ、さなり、されども

●「咄、憶面なく、眞實を云はざるか」

△さなり。我は謳歌し得ざりき。

●「不快ならざりしか」

△不快なりき。

●「憎しまざりしか」

△憎みき。

●「呪はざりしか、」

△呪ひしなり。

●「汝が友の成功は、世の幸福を增すてふ汝の心に背ける事業なるか、」

△否、

●「先きに、世の幸福を增すを以て我が一身の生存の意義なりとすと明言せしは誰ぞ」

△我なり。

●「人類のために、世に有用の人とならんが爲めに學問すと公言せしは誰ぞ」

△我れ、

●「萬人に眞の生命を與へんとて每週〳〵敎會に行き、自ら修養につとむと壯語せしものは何所にありや、」

△許せ、我なり、此所にあり、

●愚鈍！疾く汝が樣を熟視せよ、何たる色ぞ、何たる香ぞ」

△ほつ！　赤裸々の此の身！　此の胸！　之れ我が血しほか、おし見る〳〵名譽虛榮てふ心臟に向つて驀地に走りゆく、競爭、嫉妬の靑丹まざまざと全身に溢れたり、おゝ之れ我が肉か、奢侈の音に震るへて羨と憎

との色、滿身滿面に漲ぎる、あゝこれ果して眞の我が身か、

●「さばかり驚かば、今脱ぎ取りし衣を見よ、何の色ぞ、何の文字ぞ余に語れ、」

△おゝ此の衣、「事業のため」「天職の爲め」「國利民福のため」「人類のため」「國家永遠の朽ちざる事功を樹てんがため」と、ずた〳〵に裂けし衣は、之等の文字にあやめもわかず、文字と文字との間には我が姓名、隙間なきまでに書かされたり、……之れ、我が今日迄の衣なりしとは、

●「愚なる汝よ心を沈めて聞け、汝が肉と血は生れて二十年、汚れに汚れて淸まるよしなく、學校の敎へと、敎會の敎理とは、汝の裝束をかくも日々彩色せり、汝一人のみならず、萬人凡ての衣をかく彩色するなり」

△あゝ我れ、さらば如何にせん、今我が虛僞の衣は破られつ、我が眞實の肉と血の樣は……あゝ我れ如何にせん、かくて。

●「汝まだ、さけし衣を再び衣んと願ふか、纏ふて再びあざむくを願ふか、」

△さいさりながら、我れ再び世に出てんに、餘り醜き此の身を如何にせん、我ながらおぞましき此の裸體を……

●「愚なる哉、咄、そのまゝ起て步め、美名の衣、かつぎし醜骸と、赤裸との眞實と、何れが優れりとするぞ、」

△さはれ、さりながら我は人なるものを、……

●「おゝ汝、人と云ふか、人とは何ぞ。何ぞや人とは。覺めよ……自覺の日吾れ、再び來らん……自覺のその日、」

△あゝ汝ゆくか、何所にゆく……吾に自覺を與へよ默してゆくか、あゝしばし、……

矯風會通信

○本部通信、十月十八日午後六時半より青年會館に於て矯風音樂演說會開催定刻に至らざるに會衆は既に階下にあふれたり矢島會頭轉地療養中にて不在なりし

爲め粟屋姉代つて司會せらる開會の式終り橘友子孃の筑前琵琶（四條畷）の曲は滿場を泣かしめぬ次て田中正造翁は破るゝばかりの喝采の中に登壇し（世の矯風事業を妨ぐる者をいましむ）と云ふ題のもとに例の熱誠にして痛快なる一時間半餘に渉れる長演説ありたりデーピー夫人ピアノ獨奏は人をして神境にあるの思あらしめぬ山吹大校「道德の不斷着」と題して熱心に述べらる終りて島田三郎君には「不健全なる思想」につき流るゝが如き勇辯と溢るゝ熱誠とを以て一時間餘の演説をなし聽衆に大なる感を與へられ盛んなる拍手喝采に送られて席に着かれぬ最後に橘氏の川中島の演奏之れまた勇壯にして士氣を起さしめたるやう思はれぬ當夜の會衆九百人餘近頃愉快なる集會にてありし殊に聽衆の靜肅に聽聞されしは吾等の喜ぶ所にしてまた辯士諸君が微力なる當會を助け之を勵まし給ふ御親切と御厚意は永く記臆する所なり矢島會頭には病氣の爲め十八日相州茅ヶ崎南湖病院に於て療養中なり上帝の御祝福益々加はりて一日も早やく全快に至られん事を切に祈る。

○神戸支部、八月五日午前九時より山手倶樂部に於て本部會頭矢島楫子先生の歡迎會開催炎熱燒くが如き酷暑の候にも不係喜を以て先生の御溫容に接し參らせ親しく其謦咳に接せんとて來り集へる姉妹四十餘名書記鈴木直子司會のもとに讃美祈禱を以て開會、副會頭武田淑子の歡迎の辭に答へ玉ひて會頭の御懇篤なる御辭あり尚昨年米國大會に出席せられし決心當初より旅行中の面白き出來事大會の模樣迄委しく見るが如く御物語りあり歡樂つきず且つ大に勵まさるゝ所ありて時の移るを覺えず親しく談笑會頭も御氣色殊の外勝、バザー委員會にも御出席委員等と午餐を共にせられ午後二時半惜しき袂をば分ち參らせぬ。

八月廿一、廿二日兩日間豫定の如く慈善市を中山手通六丁目中宮小學校に於て開く會場委員其他各委員の綿密周到なる注意と惜しみなき勞力とに依り裝飾萬端遺憾なく整ひ定刻より續々入場者あり日暮頃よりは殊に多く一時は非常の雜踏を極め各飲食店は特に忙がはし

げに見受けられたり、入場者は兩夜を總じて千六百名計幸ひ來神中の本部會頭も兩夜とも御來會親しく實際を見聞せられ尙多大の御奬勵を無言の間に會員各自の上に與へられし事を感謝す、

會場の模樣及び賣店の種類は先づ門を入りて第一庭園に球燈數百高く上に中心を集めて八方に吊り下げ下足を取つて道を左に二階に優待室を設け來賓を招し茶菓を供し、尙盆栽、挿花、盆石等風致よく配置して觀覧に任かせ、降て階下第一室には盆栽、花卉、參考的玩具陳列第二、第三室は賣店塗物、九谷燒、西洋雜貨、日用使用文房具、編物レース、小兒洋服、聖書雜誌、繪葉書類等陳列、廊下を廻ぐつて右側建物は大廣間、室に入つて一目の中に各賣店を集む、或は下駄、履物類、小間物類、反物、小兒洋服、籠細工、玩具類、衛生材料、西洋雜貨等店數凡そ十餘、次は事務室、尙進んで階下の一室は餘興室、こゝには音樂に堪能なる人を依賴して時々奏樂唱歌をなし尙未生流の師が挿花を陳列第二庭園内には氷店、アイスクリーム、汁粉菓子、ラムチ、ジンジヤ、サイダ等の飲料店テーブル並べて球燈數百其間を點綴し、尙蟲店、躰量測量所の設けあり、二個の大蓄音器は絕えず美妙なる音樂を取り次て興を助くる等なかく〳〵に意を用ひたり、兎も角も兩夜共入場者甚だ多く盛會たりしは感謝の外なし其收支決算左の如し

一金壹百九拾壹圓七拾四錢也　總收入額

一金九拾八圓貳拾壹錢也　總支出額

一金九拾參圓五拾參錢也　差引殘額

右の如くにして純利九拾參圓五拾參錢を得ぬ、超えて廿三日午前九時より中宮小學校内に於て委員及賣店主人小學校職員、手傳有志諸氏の慰勞感謝會を開き茶菓の中に談笑す、

廿五日、午後二時より多聞教會紀念館に於て感謝會及び武田副頭會の送別會執行、出席約三十名、祈禱、讃美、感謝の辭、送別の辭答辭等あり且つ笑ひ且つ泣き五時頃散會、慈善市の豫想をこえて物質以外に大なる賜物を與へられ好結果を收めしを感謝して尙一層勇を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

鼓し一致團結運動に努む可き事を約して袂を分つ、九月廿一日第三月曜日午後二時より多聞教會に於て例會開催、天候險惡の爲めに出席者極めて少數なりしもコザート教師の傳道につきての熱心有力なる感話あり尚二三姉の實驗談等あり極めて有益なる會合として終りしは深く感謝する所也、

○前橋支部、九月十三日午後二時より堀愛子姉宅に於て役員會を開く議結せし件は一、十日例會を九月二十八日に操り上げ救世軍女士官テード大佐に演說を乞ひ並びに同大佐を歡迎する事、一、研究問題は「一夫一婦に就いて」一、日曜の禮拜前は務めて靜肅を守り各自開會まで默禱の習慣を會員一同卒先して作る事、一、接對員の指定を待たず前列より順序を追ふて着席する事、一、訪問委員を設けて親しく各會員の宅を訪問する事、一、十月の訪問委員は堀花崎兩夫人に委托する事、

九月二十八日午後二時より前橋基督教會堂に於て堀愛子姉司會の許に讃美を以て開會、會頭の聖書朗讀松宮信姉の開會の祈禱同書記の記錄朗讀花崎會計の報告に次いて各課長の報告風俗課長松宮はる子姉は「十月一日より決行の酌婦取締法」に對して大に吾等矯風會員は此問題を研究し社會人道の爲に眞實盡す處なかるべからずとのべられ右終りて研究問題に就いて會頭の「一夫一婦請願書」を主としての感話松宮信姉の三十八年度の婦人新報「一夫一婦の過去現在未來に就いて」の大略朗讀あはせて將來矯風婦人會員の此問題に對して責重さをのべられなほ、數名の所感なる筈なりしも時間不足の爲又の時を期してテード大佐の演說に移りぬ。

平民的にして溫顏ことに盡きざる神の愛の化身とも見らるべき女將軍テード大佐は眞面目なる態度を以て「婦人救濟事業に就いて」或はベルチームあり或はロンドンよりの實例を詳細に引きて吾等矯風會の過去將來に對し神の御守りの元に其成功を期して奮戰せん事をと勸められなほ我國婦人の世界最强國の婦人として恥じざるの力を輝かす日の近からん事を信ずと一時間

餘に渡れる熱心なる演説に對しても吾等互に今一層忠實に各自其務を盡さゞるべからずとの念を强め一同盡きざる心の喜びを以て散會せしは四時半頃なりし集會數六十餘名。

堀姉別宅にてテード大佐を招きて有志婦人の歡迎會茶菓の饗應ありたり。

○廣島支部、十月五日午後七時半フレーザー英語學校に於て禁酒會と合併して親睦會を開らく折惡しく雨降なりし事とて集會者卅名餘（內婦人十名）然れど一部閒雅笑語して散會せしは午後十時なりき。

同六日午後二時事務所に於て役員會を開く新に始めたる廢兵慰問の狀況報告をなし次に此等廢兵に對する働きの方法に就きて協議す何分にも未だ資金なき事なれば思ふまゝの働きは出來ざる故差當り布の袋を作りて會員並に有志者に分ちて毎日一握づゝの白米を入れられんとを願ひ一ヶ月位の後之を集めて資とし働きをなす事に定めたり目下白木綿三反を買入し袋を製造中なり。

○堺支部、九月二十二日午後二時より聖をもて教會に於て第一回少年會を開く來會者は當地所在の五教會附屬日曜學校生徒百二十人其外の來客三十名計なりき少年課々長福本ぜん子姉の司會の下に讃美し聖書朗讀祈禱終りて會長德澤夫人開會の辭として日曜學校生徒に對し歡迎と奬勵を與へられたりそれより五校の生徒いと幼き者に至るまで交々出て或は愛らしき動作などして讃美歌を歌ひ或は祝文を讀み或は聖句を暗誦し或は主の惠を大能の御業などを讃美したり其間に靑山彥太郎岡村平兵衛德澤治三氏は出て何れも兒童にとりて興味深く且有益なる話をなされたり尾形牧師の祈禱の後讃美歌第四百十八番を合唱し鈴木牧師の祝禱もて閉會し茶菓を喫して散會せしは四時半頃なりき。

これよりさき九月二日に開きし役員會に於て先般悲慘なる水害を蒙りし兩丹地方に於る同胞救助の爲め五教會と相謀り幾分の金品を募集せんとを祈の內に決定なしたりしが五教會員並に本會員の非常なる盡力により存外なる金品を集むる事を得たり其額は金四十二圓十

錢米三石衣類大包六個素麺二箱漬物一包なりき要するに此等金品は概して小額のものを多くの人より集めしものなるが中には僅一二錢の賃仕事をなす如き人の同情の涙より出てたるも少なからざりき嗚呼大神の御德は讃むべき哉一同感謝なしつゝ即ち此等集めものを三分して二十四日福知山舞鶴甲府の三ヶ所に贈りぬ其後それ〴〵丁寧なる禮狀を受たり。

○堺支部、祈禱會、十月十五日午後二時より堺基督敎會に於て初回の祈禱會を開く角田幾子姉司會の下に讃美聖書（約十五〇一―七）朗讀祈禱の後赤澤牧師祈禱に付て最も有益なる勸話をなされ爲めに一同祈の精神盛になり熱心なる祈を獻げられし者六名又會長德澤夫人の懇切なる感話ありき再び讃美を唱へ赤澤牧師の祝禱を以て閉會續て會計及び書記の報告を聞き一同新しき希望と勇氣を得てよろこび散じたり、來會者二十五名なりき。

○横濱支部、九月三十日（月曜日）午後二時より指路敎會堂に於て例會を開く出席者（北島ふさ子加藤とみ子中村とよ子毛利薫子有馬なか子小澤きくゑ子井深とせ子雪野勇計八名）讃美聖書腓立比二章一―五朗讀雪野勇祈禱を以て開會會長欠席に付雪野姉代りて其席に就き書記會計の報告なき爲め直ちに大會の模樣の報告をなす終りに會計北島ふさ子より今回本部より當支部に於て本部有給書記俸給負擔額を定めて報告せよとの通知ありし故本日の集會にて決定の上通知いたしき旨並に其方法に付き意見を述べられしも會長初め出席者少く決定し難きを以て尙會計より本部へ本日の集會出席者少く協議を充分遂る不能昨年度の負擔額は盡し得べきも詳細は次會にて協議決定の上追々通知に及ぶ旨一應書狀を發する事とし一同主の祈を以て閉會後茶菓を喫して各自散會す。

十月十四日（第二月曜日）午後二時より指路敎會に於て例會を開く會長の聖書朗讀祈禱を以て開會書記前會の報告をなし直に議事に入る前會決議に至らざりし本部有給書記俸給負擔の件に付種々協議せしも何分目下本會にて財政の餘裕なく充分の負擔に應ずる能はず遣

減ながら當分の中前年度通り年六圓寄附の事に決す次に毎會出席者少數にて各課の働きも充分ならず會員中各教會より委員を選びては如何にとの議あり次會に相談を爲すべく書記より各幹事へ通知書を出す事に決す會計より本部へ送金の事又書記よりは本部へ婦人新報の件に付交渉の事等を決議し終りに主の祈を以て閉會す當日の出席者

二宮わか子、北島ふさ子、中村とよ子、山田修子、林たね子、金田きん子、大橋繁子

○函館支部、七月廿二日例會を組合教會内に開く織笠書記名古屋に榮轉の爲め後任者に北守姉を撰び八月は酷暑の事なれば例會を休む等の相談をなし一先閉會す後織笠姉の送別會をなして散會せり一回の休會中も新しき神の惠と社會の多方面より種々なる經驗を得事業の爲め成す事あらむとせしに八月廿五日午後十時半强風の暴然たるうちに警鐘の亂打に驚されたる發火點は平素火事場と看做さるゝ所なれば如何に猛烈なるも海岸通の大通り位ならむと中央部山の手邊に啞然として望觀の姿なりき然るに四十日以上も一滴の雨なく更に三日間も强風の吹き通しなれば恰も石油を注ぎて火を附けたる如く炎々と燃え擴り風は上下の別なく吹きすさびたるため消防夫の勇しき働きも効なく水勢も空しく飛火は四方に散じて見る／＼隅々の多く細民の住所と看做さるゝ箇所のみ殘し堅固なる家のみならず倉も多く燒盡れたりかゝれば避難場撰擇の難きに叫ぶ者泣く者山奥に或は公園に或るは風上の野原に着みまゝなる姿のみたかりき翌朝に至り親類知己學校及寺院等に一時立退たるも一軒に二四家族の集合せねばなく冷氣につれ衣類なきもあり只悲慘と云ふべきのみ幸にも區役所の火難より逃れたる爲め早速炊出の用意もされ學校等に立退者は一時飢を凌ぎ貧にして衣食住に苦しむ者のためには谷地頭町にバラックを建て未だ救助中なり市中は大抵假小屋を建て不完全ながら營業をなせり以上の如き有樣なれば役員も會員も殆ど罹災のため所々離散或は他國に旅立れ會の前途も如何と案じられしが神の御指導により會を繼續すべく豫期せしに前橋矯風

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

會より慰問且會員よりの寄贈品持參し助川あい子姉來函なるに時を同じうし美山兄來られたるを幸機として十日二日微力ながら再度の旗上をなすべく美以教會假會堂にて臨時集會を開きたり三谷會頭司會の下に讃美二百三十四番を以て開會次に會頭の過去の經歷と將來の方針等に付きて語らる數名の感謝の祈禱に箴言三十一章の朗讀の後美山兄は國家の根底なる家庭の改良せらるゝ樣勤めて精神的國家となすべき責任を會員諸姉負ふべしと種々なる例を引き語られ益せらる次に助川姉の厚き慰問の辭に弘前矯風會の動勢を話さる寄贈品分配に付相談の後默禱散會せり。

●オークランド通信、七月一日（月曜日）午後三時より日本人美以教會内にて第二回總會を開く高橋會頭病氣のため出席せられず高田副會長代りて司會の席につき聖書朗讀讃美祈禱の後キリスト教信者なる婦人は熱心に活働せざるべからずてふ題にてすゝめられ一同をして大に奮起せしめらる次に大久保夫人の感話其他數名の諸姉妹代る〳〵熱心に或はすゝめ或は感話せらる宇野ます子孃は在米日本の醜業婦しかも當オークランド市なる支那街醜窟に潜む者を如何にせんとの意味にて熱心溢るゝ計の話あり各々時の切迫せるを以て役員を撰定してたゞちに親睦會に移り歡を盡して散ぜしは五時なりき。

本日役員改撰の結果左の如し

會長　高橋えつ子
副會長　大久保をとは
通信書記　竹下千代の
記錄書記　大久保をちみ
會計　天野ひで

課には母の課。花の課。少年課。傳道課。文章課の五課をおき各課の課長を撰ぶ左の如し。

母の課　堂本まつゑ
花の課　湯淺ちよ
少年課　佐野むめ
傳道課　大久保をとは
文章課　和佐ミツ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

花の課長湯淺夫人は七月廿四日玉の如き男子分娩母子共健全

六月十三日王府テレグラフ街白人バプテスト教會内にてアラメダ郡白婦人キリスト教矯風會總會ありとの報をうけ當會よりは大久保おみみ孃會頭に代りて出席竹下ちよの之にともなふ來會者八十名餘午前午後また夜の三回に分ちて盛んなる會なりきこの日午後の集會にてアラメダ郡會頭ミセスウドゴンを初め各役員其の他多數會員の前にて愈々我等オークランド日本キリスト教婦人矯風會を白人アラメダ郡キリスト教婦人矯風會に加盟せるの公然なる發表ありその後副會頭ミセスハンソンの熱心なるすゝめあり次に會頭高橋夫人に代り大久保啓賓孃の挨拶あり厚き握手の中によろこんで歸宅せしは六時頃なりき。

社告

新報代領取

オークランド矯風會（四十一年三月迄）麴町支部（八月迄）大坂支部（八月迄）横濱支部（九月迄）東京聯合（四月迄）

生徒募集

●文明の婦女子は和洋裁縫の道を心得ざるべからず

複雜なる衣服流行の時勢に於て進歩したる和洋裁縫の道を知らんと欲せば速に本塾に入學せられよ

本塾は府下唯一の完全なる裁縫專門塾にして家庭に適切なる和洋の裁縫を懇切に教授す

本塾の教師は何れも斯道に堪能なるか故に其教授法極めて完全なり

本塾にて裁縫を修得すれば家庭の樂となり實用となり經濟となり其利益甚大なり

本塾には練習用として最新式ミシン各種多數に備付あり

本塾には練習の餘暇なき夫人令孃の爲に別科の設あり毎日時間なき方は毎週一度丈にても本塾にて裁縫を學ばゞ一年を出ずして著く進歩す

詳細は規則に就て承知せられたし

●ミシン購買を望まるゝ方は速に本塾へ申込まるべし

横濱シンガー裁縫機械會社にてはミシン家庭使用奬勵の爲め本塾取扱の注文に限り特別に多大の割引を以て家庭用各種ミシンを販賣すべきことを特約せられたれば希望者は御來塾御問合に相成るべし本塾に定價表あり御申越次第特別割引價格を附し送呈す大森、品川及東京市内は運賃無料

東京府荏原郡入新井村八景園横裏（大森停車場ヨリ約三丁）玉條別莊門際

シンガーミシン 家庭裁縫女塾

塾長 潮田ちか子

ジェームスアトキンス原著、大谷虞君譯

○**兒童の宗教**

定價四十錢
郵税六錢

搖籃の中神の王國あり、眞正の宗教的品性は家庭に根ざゞるべからず。是れ本書の主張なり。小兒を我に來らしめよと言へる基督の本旨世に閑却せられたること既に久し。現世紀に至り小兒は漸く世人注意の中心となれり。本書は近世的兒童研究の精華を集めて之に論據を置けるものにして父母、教師等兒童教育の責任に當れる者の一大指針たり。

樞密顧問官男爵金子堅太郎君述

○**國家存立の原則**

定價十錢
郵税二錢

本書は先生が青山學院に於ける大演説の筆記なり

島田三郎君演説

○**酒禍の實驗**

定價一冊五錢五 郵税三冊十冊以上二割引 迄二錢

先生が實驗せられたる酒害に就ての大演説の筆記なり

美山夫人
田中榮 兩女史共譯

○**七日間**

定價三十五錢
郵税四錢

通に迷うた人の子が、たふとい愛の御力に依て救はるゝ世にも美はしき物がたりを、優しい筆に寫したる此の書は今の家庭の讀物として極めて適當ではありますまいか。迷ふ人も救はれた人も是非一度は御讀みなさいませそして此の一冊の中に深い教と盡きぬ慰めとを御見出しなさるならば譯者兩人は苦心空しからぬを喜ぶて御座いましよう

根本正君譯

○**日日の力**

定價布金五拾錢
同紙金參拾五錢 郵税金六錢

本多庸一先生

○**説教集**

定價金六拾錢
郵税金八錢

青山學院教授 山田寅之助先生著

○埃及聖地**旅行談**

定價金五十錢
郵税金八錢

佐藤廣吉君著

○**平和之福音**

定價金四十錢
郵税金六錢

神學士田中達君譯

○**人の運命**

定價金二十錢
郵税金四錢

疋田彰爾君著

○**小供のため**

定價金二十錢
郵税金四錢

岡野敬胤君編

○**少年週話**

定價金二十五錢
郵税金四錢

古谷新太郎君編

○**はなしの園**

定價金二十五錢
郵税金六錢

碧川企救男君著

○小説**野の百合**

定價金二十五錢
郵税金四錢

スワーツ先生著

○英和對照**聖書の文學的研究**

定價金四十錢
郵税金六錢

東京市京橋區銀座四丁目壹番地 内外書肆 **教文館**
（電新二五、二、六）
（振替一一三五七）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

エヴァンゼリスト木村清松先生著

▼世界一週 傳道旅行▲

定價金五十錢 郵税金六錢

木村先生は故ムーデー先生の逸足にして現今我國傳道界の飛將軍となり國の東西に轉戰し着々として功果を納め神の國を擴張しつゝあるは世の能く知れるが如し先生過般世界傳道旅行を思ひ立ち歐米の大都府に於て白人に悔改を勸め轉じて埃及より聖地に入り各所の聖跡を訪ひ且つ救主の降誕地を始めとし神の撰民と稱せし十人の後裔に神の大道を傳へキリストの救と悲を說き歸路東洋沿岸の各港を經凱歌を奏しつゝ歸朝せられたるが其旅行の大要を記述したるは此書にして近時發行せられつゝある旅行記とは自ら其撰を異にせる良著なり信徒は宜しく信仰復興の爲に未信徒は眞の道に入る唯一の栞として必ず座右に供へらるべし

二宮尊德と其風化著者 留岡幸助先生著

二宮尊德と劍持廣吉

定價四十五錢 郵税六錢

戰後の我民心は自然の趨勢として道德及經濟の兩問題に傾注し而して永く忘れられたる二宮尊德翁は再び地下より呼び起されたり。數年以來二宮翁を唱道せしもの少からずと雖而かも本書の著者たる留岡先生の如く熱心に且つ深く翁を研究したるもの稀なり本書は主として翁の生誕地に近き竹比村の里正劍持廣吉が翁の道德と經濟とを以て難村を革正したる顚末を叙述し附するに竹比竹松兩村の改革並に報德或門の二篇を附録として收錄せり苟も社會民政教育宗教の活問題を解釋せんものは必ず一本を座右に備へざる可らず敢て江湖に推奬す

理學博士松村松年先生著

昆蟲分類學

上卷 定價金五圓

昆蟲類學の基礎は分類學にあり著者曩に日本昆蟲學を著し其當時の昆蟲分類學の紹介より今や星移り學進み大に其趣きを異にせり乃ち茲に改題して日本昆蟲分類學と云ふ頁數三百四十（多く六號活字を用ゆ）圖畫約四百を挿入して說明を便にせり之れ日本昆蟲學の基礎にして近年の大著述なり

發兌 東京市京橋區尾張町二丁目 （振替貯金口座 五五三番） 警醒社書店

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百廿六號
明治四十年十月廿五日發行（毎月一回發行）
明治三十二年七月廿四日第三種郵便物認可

東京市京橋區西紺屋町二十六七番地　株式會社秀英舍印行

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA